

本格的な暑さの前から熱中症予防対策を！

例年、体が暑さに慣れていない5月頃から、熱中症が疑われる症状で救急搬送される方が見受けられるようになり、特に、急激に気温が上昇する梅雨明け後からは多くなる傾向にあります。横浜市では昨年の5月から9月に、熱中症で搬送された方は市内で1,284人でした。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、本格的な暑さを迎える前から熱中症予防対策にしっかり取り組みましょう。

1 熱中症による搬送人員の推移

過去10年間の搬送人員を比較すると、昨年は10年間の平均搬送人員978人の約1.3倍の搬送人員となっています。

また、昨年の梅雨明けは8月1日頃で、8月は最高気温が35℃以上となった日が計5日、また32℃以上となった日は計28日あり、梅雨明け後は、熱中症で救急搬送される方が多い傾向にあります。（下表網掛け部分：搬送人員が最多の月）

表 過去10年間の熱中症による搬送人員の推移 (人)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
合計	854	653	1,072	651	913	662	734	1,711	1,244	1,284
5月	6	5	9	11	31	27	48	23	55	24
6月	92	15	30	52	33	49	42	84	40	96
7月	276	273	447	302	448	223	328	883	246	87
8月	400	300	514	268	387	301	276	683	758	943
9月	80	60	72	18	14	62	40	38	145	134
前年比較	▲78	▲201	419	▲421	262	▲251	72	977	▲467	40

【参考】 梅雨明け期日 令和2年梅雨明け：8月1日頃 令和元年梅雨明け：7月24日頃 平成30年梅雨明け：6月29日頃
出典：気象庁ホームページ (<https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/baiu/index.html>)

2 熱中症を予防する対策

- (1) 涼しい服装、日傘帽子
- (2) こまめな水分補給
- (3) 日頃からの健康づくり
- (4) 部屋の温度管理
- (5) 屋外で人と2メートル以上離れている時は
適宜マスクをはずす



裏面あり

3 「熱中症警戒アラート」の活用

「熱中症警戒アラート」は、環境省と気象庁が、熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に、危険な暑さへの注意を呼びかけ、熱中症予防行動を促すための情報です。

令和3年度から、従来の気象庁の高温注意情報に置き換えられ、気象庁が発表する他の防災情報や気象情報と同じように、関係省庁、地方自治体、報道機関、民間事業者等へ向けて配信されます。

☀ アラート発表時の熱中症予防行動の例 ☀

- ・ 不要不急の外出は避け、昼夜を問わずエアコン等を使用する。
- ・ 高齢者、子ども、障害者等に対して周囲の方々から声かけをする。
- ・ 身の回りの暑さ指数（WBGT）を確認し、行動の目安にする。
- ・ エアコン等が設置されていない屋内外での運動は、原則中止または延期する。
- ・ のどが渇く前にこまめに水分補給するなど、普段以上の熱中症予防を実践する。

出典：環境省熱中症予防情報サイト 熱中症警戒アラート (<https://www.wbgt.env.go.jp/alert.php>)

4 熱中症予防に関する資料

●環境省ウェブサイト

環境省のウェブサイト「環境省熱中症予防情報サイト」では、熱中症警戒アラートのほか、各種普及啓発資料が公表されています。

「環境省熱中症予防情報サイト」 (<http://www.wbgt.env.go.jp/>)



携帯電話用二次元コード
<http://www.wbgt.env.go.jp/kt/>



スマートフォン用二次元コード
<http://www.wbgt.env.go.jp/sp/>

●スポーツ庁ウェブサイト

新型コロナウイルス感染対策 スポーツ・運動の留意点と運動事例については、スポーツ庁より情報提供されています。

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/jsa_00010.html



お問合せ先

消防局救急課長 長谷部 宏光 Tel 045-334-6771